

2014年10月入職

ならさきまきこ
榎崎真紀子

思いやりの心で患者さまに寄り添いたい

患者さまが安心して話せるような雰囲気づくりを

思いやりエキスパートの候補として選ばれたとき、素直にすごく嬉しかったことを憶えています。育休から復帰してまだ1年でいただいたお話だったため、私を選んでくださったことに対する驚きもありました。嬉しさと驚きが入り混じる中で研修に参加したのですが、自分にはまだまだ未熟なことが多々あるということを感じました。思いやり行動は以前から心がけているつもりでしたが、改善すべきことが多々あることが浮き彫りになりました。

特に印象に残っているのが、ロールプレイングで学んだアクティブラスニングです。本来は患者さまの話をきちんと最後まで聞くべきなのですが、よかれと思って会話の「間」について質問を挟んでしまったり、少し間が空くと話を先読みしてしまったりと、患者さまが気持ちよく話することへの配慮が欠けていました。これからは会話の間も大切にしながら、冷静に最後まで話を聞き、どの患者さまも安心して話せるような雰囲気づくりに心を配りたいと思っています。

海外で出会った看護師さんが、運命を決めた



私がこの仕事を選んだきっかけは、言葉が通じない環境の中から生まれました。私は小学6年から中学2年まで海外に在住していて、ある日急性虫垂炎の手術をすることになったのですが、病院には日本語を話せる医師や看護師さんがひとりもいませんでした。術後の痛みや恐怖、さらには日本語が通じないことで不安がいっぱいでしたが、そんな私の心の支えとなったのが、ひとりの看護師の方でした。

ジェスチャーを交えて痛みの度合いを確認してくれたり、笑顔で頭を撫でてくれたりと、言葉の通じない私に優しさをたっぷり注いでくれたおかげで、安心して入院生活を送ることができました。そこに言葉によるコミュニケーションがなかったとしても、相手を思いやる気持ちがあれば心身の苦痛の緩和ができるという経験は、今も私の中に息づいています。思いやりエキスパートとして一人前になれるのかまだ不安はありますが、与えていただいた貴重なチャンスに精一杯応え、患者さまだけでなく、いつも助けてくださる施設スタッフの方々のためにも頑張りたいと思っています。



患者さまの声を聴き
思いを尊重できる思いやりのある
看護師を目指します。

榎崎真紀子